

2.4.1 企業概要

設立: 1917年	本社: ロンドン(英国)	上場先: LSE / JSE
決算期: 12月末	CEO: Mark Cutifani(13年4月~)	連結従業員数: 63,000名
主な生産鉱種: 		

■ 経営数値 ■

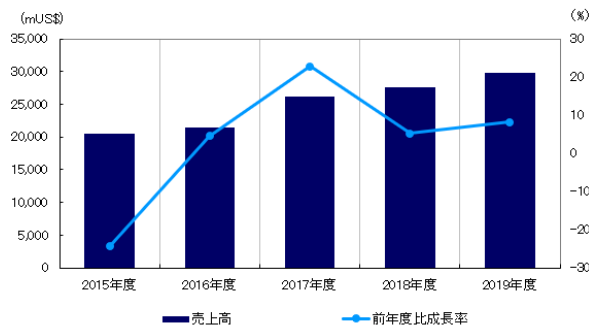


図 2-4-1. 売上

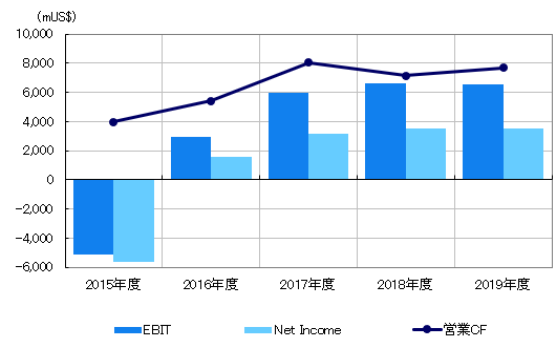


図 2-4-2. 利益

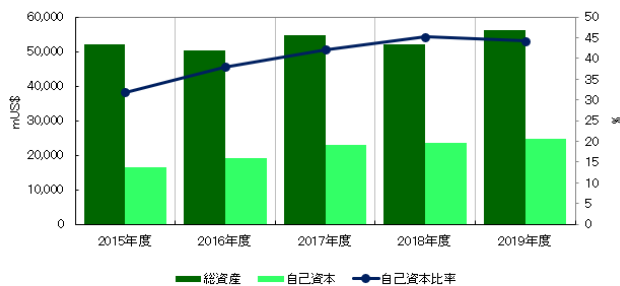


図 2-4-3. 資産

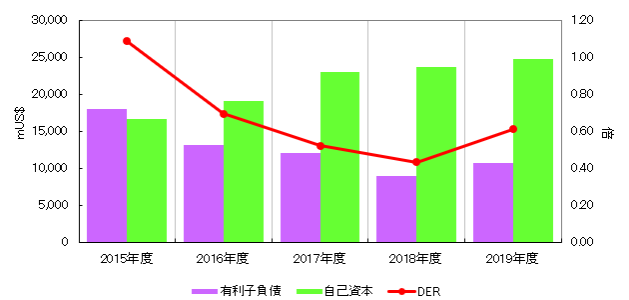


図 2-4-4. 負債

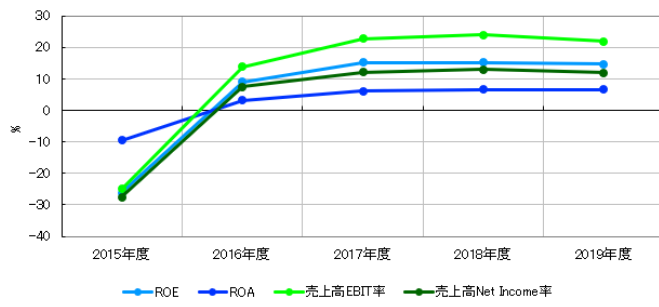


图 2-4-5. 収益性

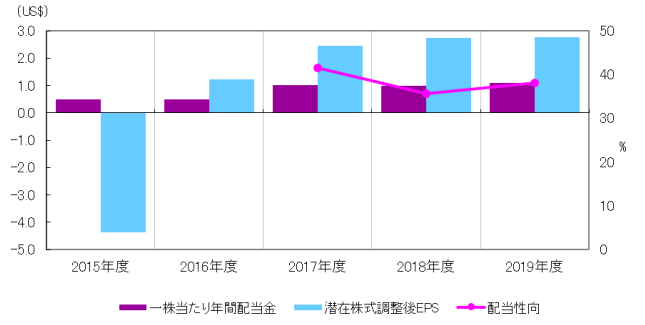


图 2-4-6. 配当

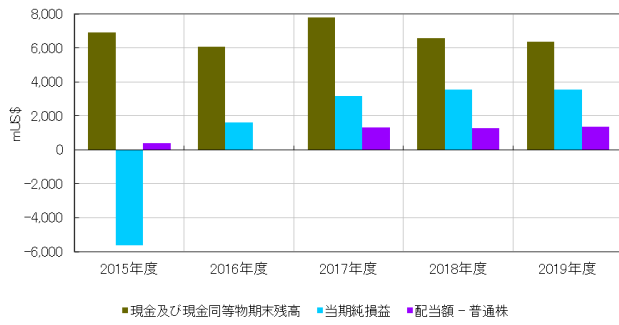


图 2-4-7. 内部留保

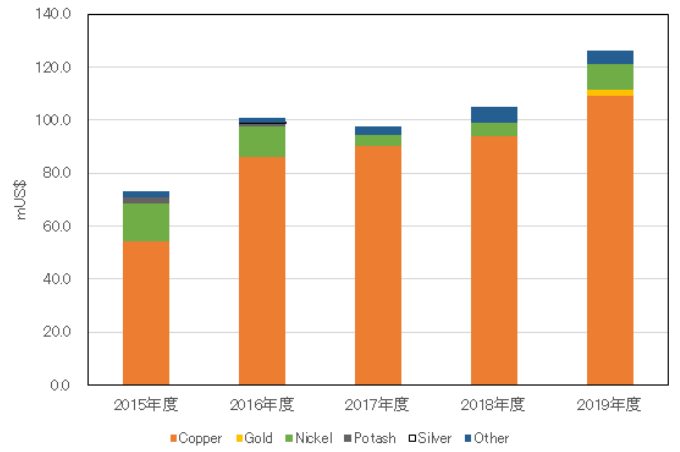


图 2-4-8. 探鉱費

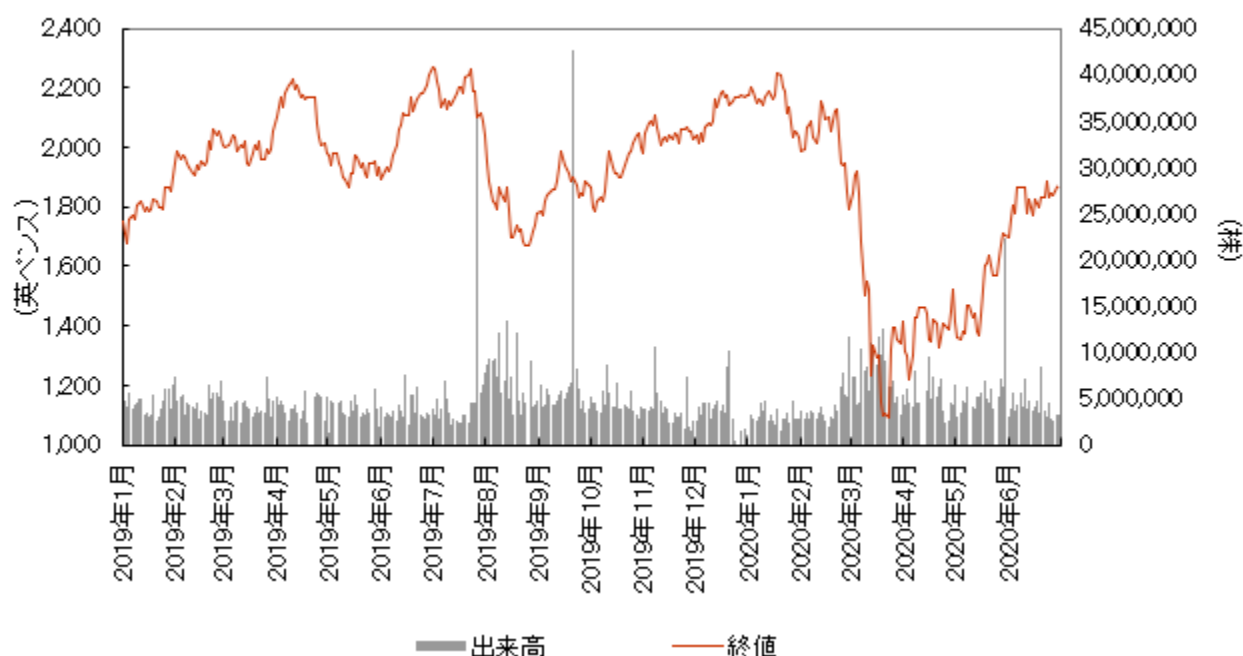
(出典：アニュアルレポート、S&P Global)

2.4.2 個社概況

2019年は、干ばつにより水不足の影響を受けたチリの Los Bronces 銅鉱山や、需要低迷のダイヤモンドにおいて生産量が前年比減少するも、鉱山一積出港間の鉱石輸送パイプラインの点検が完了し 2018 年末より生産を再開した Minas Rio 鉄鉱石鉱山等の影響で、Anglo American グループ全体としては銅換算ベースで前年比 1%の微増を記録、純利益も前年度と同規模を確保した。

同社はこれまで、中核事業の一つである PGM 関連を含む資産売却によるリストラを断行してきたが、2020 年決算速報発表の報道等に見られる様に、資産を追加取得することでの成長・拡大より、手持ち資産の開発や最適化を推進する経営方針を打ち出している。その筆頭はペルーの Quellaveco 銅プロジェクトで、COVID-19 の影響で開発作業の中断を余儀なくされるもその後再開し、現時点では 2021 年第 2 四半期より建設工事開始、2022 年の生産開始に向けて着々と進捗中である。

トピックとなる最近の動向としては、2020 年 3 月の英 Sirius Minerals 社の買収が挙げられる。Sirius 社は英国中部に位置する Woodsmith ポリハライト（カリウム）プロジェクトを保有する探鉱ジュニア企業で、同プロジェクトは世界最大規模のポリハライト埋蔵量を誇るとも言われている。ポリハライトもしくは主成分のカリウムの主用途は肥料であるところ、2016 年には肥料用途が主であるリン鉱石を産出する鉱山を手放したばかりであったが、これら一連の動きの背景としては、より良い資産との入れ替えが視野にあったものと推測される。



(参考) 図 2-4-9. 株価推移

2.4.3 Anglo American の鉱種別アセット所在地





2.4.4 オペレーション別の生産量

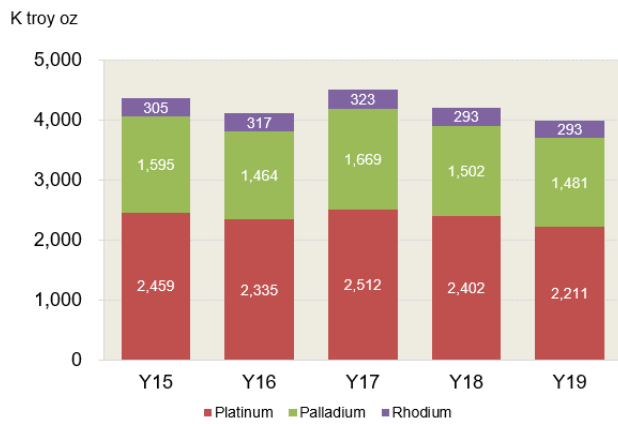


図 2-4-10. PGM

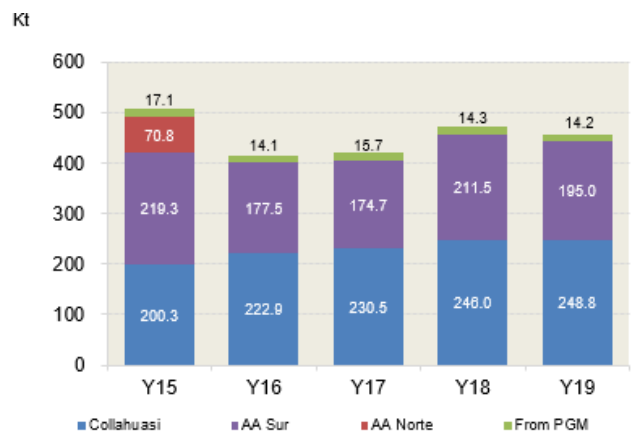


図 2-4-11. 銅

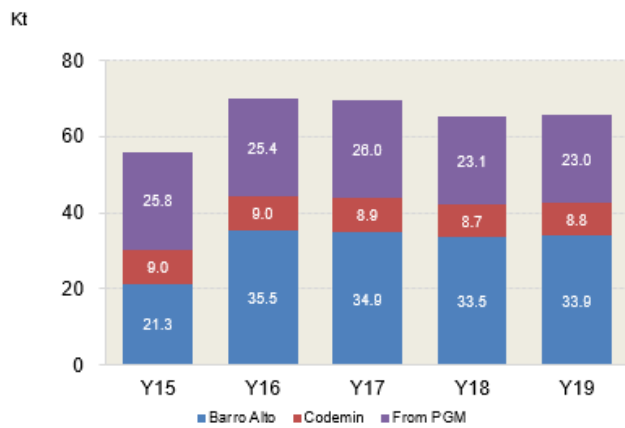


図 2-4-12. ニッケル

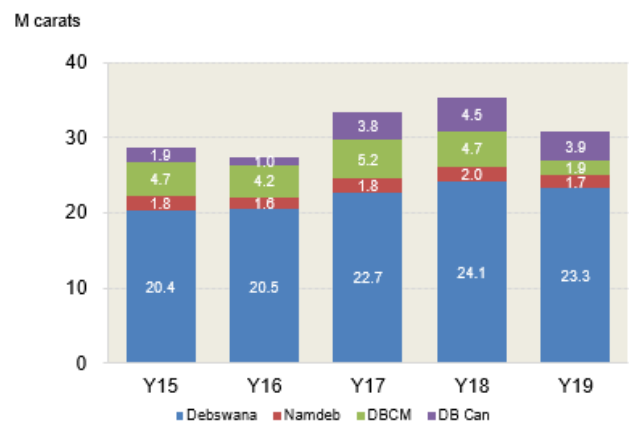


図 2-4-13. ダイヤモンド

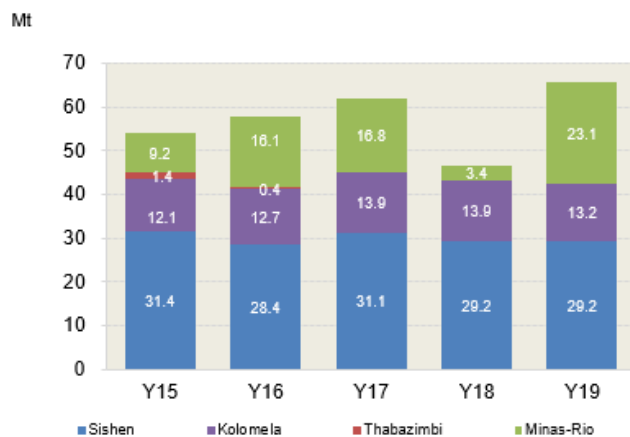


図 2-4-14. 鉄鉱石

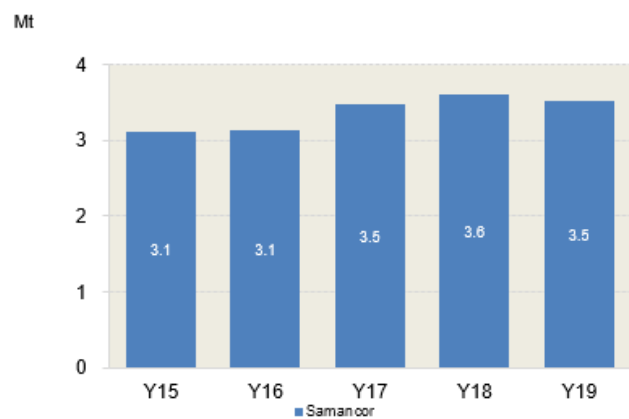


図 2-4-15. マンガン鉱石



図 2-4-16. 原料炭

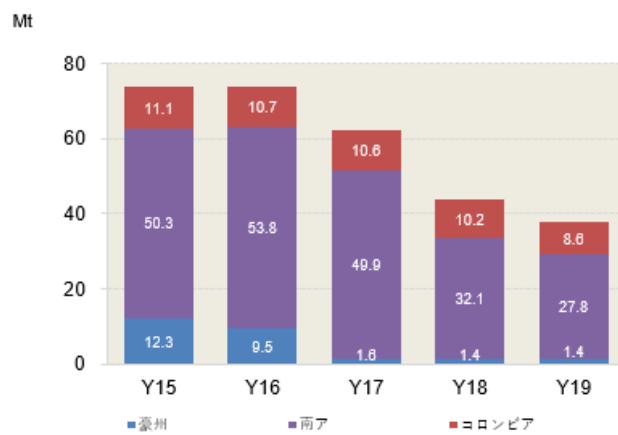


図 2-4-17. 一般炭

2.4.5 主なトピックス（19年会計年度：2019年1～12月末）

月日	鉱種	ニュース
2019年 1月16日	銅 ベースメタル ニッケル	<p>Anglo American、南米における活動を重点化</p> <p>2019年1月11日付け地元紙によると、Anglo American Brazil社のFernandes社長は、今後数年間、南米は同社のベースメタル生産の主要成長エリアとなるとの考えを示した。さらに、EVに関連した銅やニッケルの今後の需要増に備えて同社の体制を整えていく方針を示した。</p> <p>Anglo Americanはチリで複数の銅鉱山を操業するほか、ペルーでは2022年にQuellaveco銅プロジェクトの操業を開始し、年間30万tの銅を生産予定である。Quellaveco銅プロジェクトのマインライフは30年で、その他の鉱山拡張分も併せて、Anglo Americanは中期的に年間100万tの銅を生産する見込みとなっている。</p> <p style="text-align: right;">（リマ事務所 栗原健一）</p>
2019年 1月29日	銅	<p>ペルー政府、Quellaveco銅プロジェクト開発に係る一般売上税(IGV)還付を承認</p> <p>2019年1月21日付け地元紙によると、1月18日、エネルギー鉱山省(MEM)は、Anglo Americanに対し、法令DL973号3条に基づきQuellaveco銅プロジェクト(Moquegua州)開発における一般売上税(IGV)還付制度の適用を認める決議を公布した。</p> <p>本制度の適用により、Anglo Americanは、Quellaveco銅プロジェクトの生産開始前のステージにおける新たな財やサービスの輸入・購入、建設契約等に係るIGVが還付されることになる。</p> <p>MEMの決議には、本制度の対象となる財やサービス、建設契約のリストが添付されているほか、Anglo Americanが2018年8月に投資促進庁(PROINVERSION)に対して本制度適用を目的とした投資契約書の締結を申請し、同年12月末にペルー政府との間に契約が締結されたこと等が説明されている。</p> <p style="text-align: right;">（リマ事務所 栗原健一）</p>
2019年 4月17日	その他	<p>Rio TintoとAnglo American、Climate-Smart Miningプログラムに参加</p> <p>2019年4月9日付けのメディア情報等によると、Rio TintoとAnglo Americanは、世界銀行のClimate-Smart Miningプログラムに参加すると発表した。このプログラムは、鉱業に関連するサプライチェーン全体として社会や環境・気候変動への影響を最小限に管理しつつ、開発途上国におけるリチウム、コバルト等の採掘を持続可能なものとするための支援を目的としており、2019年5月から開始される。世界銀行は民間事業者から50mUS\$集める方針であり、Rio Tinto</p>

		<p>は専門的なコンサルティングアドバイスを行うと共に、これから5年間に渡って1mUS\$の貢献を行う予定。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>
2019年 5月21日	PGM(白金族)	<p>南ア Amplats 社の Unki 白金族鉱山の製錬所を完工</p> <p>2019年5月16日付け南ア Anglo American Platinum (Amplats) 社の公表によると、ジンバブエの Shurugwi にある Unki 白金族鉱山にて、62mUS\$を投資して新設した製錬所の完工式が行われた。2015年に建設がアナウンスされ、ジンバブエ政府が掲げる経済成長や付加価値化政策に沿った形で進められた。Unki 鉱山の精鉱をこの山元の製錬所にてマットにした上で、Amplats 社の南ア Rustenburg 製錬所に輸送され処理される。既に2018年8月から試験操業が行われていた。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019年 5月28日	その他	<p>ブロックチェーンを用いた在庫管理プラットフォーム Forcefield 立ち上げへ</p> <p>2019年5月22日付けのメディア情報によると、金属コモディティ会社と金融機関のコンソーシアムは、金属の取引の管理を目的として、ブロックチェーン等のデジタル技術を活用した Forcefield という在庫管理システムを立ち上げる予定。Forcefield では Accenture 社による技術支援の下、ABN Amro 社、Anglo American、CMST International 社、Hertree Partners 社、ING Bank 社、Mercuria 社と OCBC Bank 社が MOU を結んでいる。このプラットフォームでは、IoT センサー、近距離無線通信 (NFC) チップを使用し、サプライチェーンのライフサイクル全体を通じて商品を管理する。Forcefield は所有権のセキュリティを強化し、現物在庫の取引コストを減らし効率をあげることができるとともに、金属の出所を追跡することも可能となる。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>
2019年 7月19日	銅 その他	<p>ペルー Moquegua 州、鉱山企業に対する 24 時間デモを実施</p> <p>2019年7月16日付け地元各紙によると、7月15日、Moquegua 州内で活動する鉱山企業に対し、環境汚染の疑いや合意不履行等に対し抗議を表明する 24 時間デモが実施された。抗議活動では Montalvo 橋や道路の封鎖等が行われた。</p> <p>デモ参加者は、Anglo American の活動による粉塵被害の発生や、Southern Copper 社の Cujone 銅鉱山が Torata 川流域に損害をもたらしていると主張したほか、Moquegua 州の Cuevas 州知事や Mariscal Nieto 郡の Cardenas 郡長が鉱山企業に対して断固とした姿勢を示さないことに対して批判した。</p> <p>同日夜、両州知事・郡長らは声明を発表し、デモ抗議の実施は市民に認められた権利であるとの考えを示した一方、Anglo American、</p>

		<p>Southern Copper 社、Arutani 社等に対し、雇用に関する合意の履行を要請した。これに対して Anglo American は、同社は Moqegua 州との間に存在する約束や義務事項を全て履行している、例えば単純労働者の雇用率は合意の範囲を超えた 95%に達しているほか、技能労働者を含めた地元出身の労働者の雇用率は約 40%にのぼると説明した。また、環境面についても法定基準を遵守していると主張した。</p> <p>(リマ事務所 栗原健一)</p>
2019 年 7 月 19 日	プラチナ パラジウム リチウム	<p>Amplats 社と加 PTM 社が白金・パラジウムを用いた次世代電池開発の JV 企業を設立</p> <p>2019 年 7 月 15 日付け、英 Anglo American Platinum 社 (Amplats) の発表によると、同社と加 Platinum Group Metals 社 (PTM) は、白金とパラジウムを用いた次世代電池技術の開発を加速すべく、JV 会社 Lion Battery Technologies 社を設立した。同社はフロリダ国際大学と提携し、白金とパラジウムを用いたリチウム空気電池やリチウム硫黄蓄電池の先導研究プログラムを推進する。Amplats の広報担当者は、白金族金属の広範なイノベーション・エコシステムの分野で発見や発明などの初期段階の技術を育成するという Amplats の戦略と合致していると説明した。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 7 月 19 日	PGM(白金族)	<p>南ア白金族鉱山にて労働組合の賃金交渉が開始</p> <p>2019 年 7 月 10 日付けメディアによると、南ア白金族業界にて勢力を持つ鉱山労働者・建設組合連合 (AMCU) が、Anglo American Platinum 社 (Amplats) に対して賃上げ要求を提示したことを明らかにした。他社に対しても同様の要求を行う。AMCU はメンバーのために毎月 17,000ZAR (ランド、約 1,200US\$)、約 48%の賃上げを要求している。労働者側が、パラジウムやロジウムの価格上昇やランド通貨の下落で、Amplats、Sibanye-Stillwater 社、Implats などの鉱山会社の利益が増加していることから要求を正当化するのに対して、鉱山側は 2014 年のストライキの時のように、雇用の削減や鉱山の閉鎖につながると警告する。メディアによると組合と会社側の交渉は難航する可能性がある。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 7 月 19 日	PGM(白金族)	<p>南ア鉱物資源エネルギー省が BRPM 白金族鉱山の Amplats からの鉱業権移転を承認</p> <p>2019 年 7 月 17 日付け英 Anglo American Platinum 社 (Amplats) の発表によると、南ア・鉱物資源エネルギー省は、Amplats 傘下の Rustenburg Platinum Mine 社 (RPM) が Bafokeng Rasimone 白金族鉱山 (BRPM) JV に所有していた 33% 権益を Royal Bafoken Platinum 社 (RBPlat) に譲渡することに伴う鉱業権の移転について、鉱物石油資源開発法 (MPRDA) の Section11 に係る承認がなされた。RPM は、2018</p>

		<p>年 7 月に同権益に対して 18 億 ZAR (ランド、約 130mUS\$相当) のオファーを受けて、既に両社の合意がなされていたところ、今回の承認により BRPM の鉱業権の移転が正式になされたことになる。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 7 月 23 日	PGM(白金族)	<p>Amplats 社、白金族生産量は通年のペースを維持</p> <p>2019 年 7 月 18 日付け Anglo American Platinum 社 (Amplats) の発表によると、2019 年第 2 四半期の PGM 生産量 1,119 千 oz は前年同期比 1%増であり、年間の精鉱生産量見通しである PGM4.2~4.5 百万 oz (白金族純分量) は据え置きとした。同社が操業する鉱山の PGM 生産は、Mogalakwena 鉱山と Mototolo 鉱山の減産のため、4%減の 633.6 千 oz となった。合弁会社の PGM 生産も、Kroondal 鉱山の好調にもかかわらず、Modikwa 鉱山の減産により、4%減の 228.2 千 oz となった。しかし、他社からの PGM 精鉱の購入量は、Bafokeng Rasimone Mine 社および Siyanda Resources 社からの購入量が増加したため、22%増加して 256.9 千 oz となった。</p> <p>精錬生産 (トーリングを含む) は、施設の処理能力の向上と安定性のおかげで、23%増の 1,427 千 oz となった。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 8 月 21 日	銅	<p>ペルー Moquegua 州で Quellaveco 銅プロジェクト反対無期限デモ</p> <p>2019 年 8 月 15 日付け地元各紙によると、Anglo American Peru 社の Ortega 副社長は、8 月 12 日に開始した Quellaveco 銅プロジェクト (Moquegua 州) への反対無期限デモに関し、現在鉱山建設は 25%の進捗状況にあり、デモ隊の道路封鎖により建設の進行に影響を受けているものの、建設作業は停止していない旨明らかにした。</p> <p>また同副社長は、プロジェクトに対する反対勢力はより多くの雇用や投資、地元からの物資サービス購入等を要求し、自治体や市民団体の代表者との正式な対話交渉の場である「モニタリング委員会」を尊重しているグループと、より過激で Tia Maria 銅プロジェクト反対勢力と同様の主張により Quellaveco 銅プロジェクトの中止を求めるグループに分けられると説明した。</p> <p>また、同副社長の見解として前者のグループとは、地元からの雇用率が 96%と取り決め (80%) を上回っており、さらに対話をしていきたいとした一方で、後者の過激派グループとは対話を行っていないものの、Moquegua 州や Ilo 郡など地域の支持は得ていない勢力だとの見方を示した。加えて、同グループの Quellaveco 銅プロジェクトが河川流域の水源に位置しているとの主張に対し、プロジェクトは水源から 22km 以上離れた場所に位置し Moquegua 川や Asana 川を汚染することはない上、Asana 川については既に 200mUS\$を投じて迂回工事を実施済みであり、プロジェクトにおいてこれら河川の水を利用しないと、この主張は誤りであると述べた。さらに、鉱山建設</p>

		<p>の土砂を河川に投棄しているとの訴えについては、断固としてそのような事実は存在しないと主張、環境評価監査庁 (OEFA) からの査察を継続的に受けているほか、住民参加型の環境モニタリング等も実施してきていると説明した。</p> <p>一方、南部の複数の州知事らによる鉱業一般法改正の動きについては、現時点においては投資を可能とする法的枠組や一定の予見可能性が存在しているが、急進的な法改正が行われた場合、当然、同社もどのような決定を行うべきか検討を行うことになることになるとコメントした。</p> <p style="text-align: right;">(リマ事務所 栗原健一)</p>
2019年 8月28日	鉛	<p>鉛鉱山周辺のコミュニティが鉛中毒に関して Anglo American SA 社を相手に集団訴訟を準備</p> <p>2019年8月23日付けメディアによると、ザンビア Kabwe 鉛鉱山周辺に住むコミュニティが、住民の鉛中毒に関して、Anglo American South Africa 社を相手に集団訴訟を南ア高等裁判所に提訴すべく準備している。英国の法律事務所によると、数万人の Kabwe の住人が、鉱山、製錬所や廃砕ダムからの粉塵を摂取したことによって、血中鉛濃度が高くなったと推定される。Anglo American SA 社は、同鉱山を1925年から1974年まで操業し、その後は国有化され1994年に閉山していることから、鉛中毒に係る責任を否定している。</p> <p style="text-align: right;">(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019年 9月5日	PGM(白金族)	<p>Amplats、Mogalakwena 白金族鉱山に隣接する探鉱権の買収を完了</p> <p>2019年8月27日付け Anglo American Platinum 社 (Amplats) の発表によると、子会社 Rustenburg Platinum Mines 社 (RPM) が同社の Mogalakwena 白金族鉱山の北部に隣接する探鉱鉱区 (Kwanda North and Central blocks) の買収を完了した。今回の買収で、RPM は、探鉱鉱区の保有者であった南ア Atlatsa Resources 社に 300mZAR (南ア・ランド: 20mUS\$相当) の現金支払いを行った。また、Atlatsa 社の負債 4.6bZAR (300mUS\$相当) を償却することになっている。</p> <p style="text-align: right;">(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019年 10月16日	その他	<p>Anglo American、ENGIE 社と世界最大の水素燃料鉱石運搬トラック開発の契約締結</p> <p>2019年10月10日付けのプレスリリースによると、Anglo American はグローバルなエネルギーサービス企業である仏 ENGIE 社と、世界最大の水素燃料鉱石運搬トラックを開発し、燃料供給する契約を締結した。これは、Anglo American の持続可能な鉱業のためのイノベーションアプローチ、FutureSmart Mining の一環である。ENGIE 社が水素生成法を提供し、Anglo American がトラックの開発を行う。実現すれば、水素燃料を初めて実装する積載容量 300t の鉱石運搬トラックになる。具体的にはトラックのディーゼルタンクを水素タンク</p>

		<p>に交換し、エンジンを水素燃料電池とバッテリーパックへ交換する。水素は採掘現場の太陽光発電を利用して生成される。水素燃料トラックの稼働は 2020 年に予定されており、続いて Anglo American の南ア Mogalakwena 白金族鉱山でテストと検証プログラムを行い、その後同社の他の鉱山でも活用される予定。水素燃料トラックの性能は既存のディーゼルトラックと等しいかそれ以上で、その上、大気を汚染せず騒音も低く、メンテナンスコストも低いと見込んでいる。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香、ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 11 月 7 日	その他	<p>鉱山・金属会社 7 社が World Economic Forum と協同して責任ある調達へ取り組む</p> <p>2019 年 10 月 25 日付けのプレスリリースによると、鉱山・金属会社の 7 社が World Economic Forum と協同で鉱物の責任ある調達に取り組むことを発表した。この The Mining and Metals Blockchain Initiative では、透明性の問題、鉱物の追跡、炭素排出量の報告への取組や効率性の向上のためのブロックチェーンプラットフォームの構築を目指すこととしている。設立メンバーは、Antofagasta Minerals 社、Eurasian Resources Group 社、Glencore、Klöckner & Co 社、Minsur 社、Tata Steel 社、Anglo American/De Beers (Tracr) 社の 7 社。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>
2019 年 11 月 12 日	プラチナ	<p>南アプラチナ鉱山の労組 AMCU、賃金交渉の終結間近</p> <p>2019 年 11 月 7 日付けメディアによると、南ア・プラチナ鉱業界にて最大勢力を持つ労組 AMCU (鉱山労働者・建設組合連合) は、多少の未解決部分が残るものの、早ければ来週にも、生産者との間で賃金協定を締結する可能性がある、と述べた。AMCU の交渉責任者 Jimmy Gama 氏は、同組合の組合員が、Anglo American Platinum 社、Impala Platinum 社、Sibanye Gold 社からの修正提案を受け入れる可能性があるとも語った。大きな混乱なしに賃金問題を解決できれば、Sibanye Gold 社や Impala Platinum 社は、配当を再開できるかもしれない。プラチナ鉱山会社は、6 月に始まった交渉の行き詰まりを打開するため、10 月には政府の仲介を依頼していた。最近になって、Impala Platinum 社は、賃金を引き上げる (最低基本給を今後 3 年間 1,100ZAR (南ア・ランド) 引き上げる) ことを労組に提案したという。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 12 月 17 日	銅	<p>Anglo American、Los Bronces 銅鉱山で淡水の利用を止めると発表</p> <p>チリ国内中央部が直面している干ばつによる水不足問題に対し、鉱業セクターは海水の利用、水のリサイクルという 2 つの方法で対処している。2019 年 12 月 9 日付けの地元メディアによると、Anglo American の Rene Muga 総務・広報担当副社長は、同社はチリ国内の水の状況について十分理解しており、飲用水の消費が優先されるこ</p>

		<p>とから、Los Bronces 銅鉱山の生産プロセスに淡水の供給を止めていくことを発表した。既に 2012 年から水のリサイクルを促進しており、利用される水の 75～80%はリサイクル水となっている。更に、他社の工場や発電所からの廃水を再利用する計画であり、複数の企業とは既に合意し、近隣コミュニティへの支援を開始している。同社はこの変更に伴う投資額を算出していない。</p> <p>(サンティアゴ事務所 梶島太郎)</p>
2019 年 12 月 25 日	その他	<p>Anglo American、鉱業における革新的なテクノロジー開発のため First Mode 社と 13.5mUS\$の契約を締結</p> <p>2019 年 12 月 17 日付けのプレスリリース等によると、Anglo American は鉱業における革新的なテクノロジーを開発するため、米 First Mode 社と 13.5mUS\$ の契約を締結した。First Mode 社は Anglo American の持続可能な鉱業のためのイノベーションアプローチをしている FutureSmart Mining プログラムのプロジェクトを支援する。First Mode 社は、Anglo American が 2020 年に予定している水素燃料鉱石運搬トラックの稼働のためのシステムエンジニアリング、インテグレーション、実験プログラムもサポートしている。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>
2019 年 12 月 26 日	銅	<p>チリ Los Bronces 銅鉱山の水道管敷設プロジェクトを地元農家が告発</p> <p>2019 年 12 月 20 日付け地元紙は、Colina 市 Valle de Quilapilún 地区の農家が、Los Bronces 銅鉱山の操業にあたり、Anglo American が環境評価局 (SEA) の許可を得ずに CODELCO から鉱山廃水を供給する水道管の敷設を開始したとして、環境監督庁 (SMA : Superintendencia del Medio Ambiente) に告発したと報じている。</p> <p>農家は、CODELCO の鉱山廃水供給管敷設を請け負う第三者への水供給、Anglo American の CODELCO Ovejeria 廃滓ダムから鉱山廃水を供給する約 8km の水道管敷設のプロジェクトを通じ、Anglo American と CODELCO 間で影響評価 (EIA) を逃れる推定合意が行われたと訴えている。両社は、SEA の許認可を経ずして環境当局にプロジェクト実施を申請した疑いが持たれている。</p> <p>この告発は、このプロジェクトが地域にもたらす影響について調査するよう SMA に対して行われた。また、パイプライン敷設の中止と両社から提出された SEA の手続きの一時中断を求めている。Valle de Quilapilún 地区農家共同体代表は、これによって周辺地域が、パイプライン破損時に重大な不測の事態をもたらす危険性に晒されている、と訴えている。</p> <p>Anglo American は、現在までのところこの告発を承知していないとしながらも、会社としてはチリが直面している干ばつへの対応を取っており、鉱山操業に利用する産業用水は飲用水や灌漑用水に影響</p>

		<p>響しない、これにより CODELCO や Anglo American は、既に認証済みの第三者の土地を通るパイプラインを敷設中だと説明した。更に、この計画は飲用・農業用に水をより確保するもので、敷設工事にあたって環境影響評価は不要で、鉱山での産業用水の永久利用に係る許認可を得るため SEA に申請書を提出した、と説明した。</p> <p>一方 CODELCO は、本件は Anglo American から説明していると述べるにとどめた。</p> <p style="text-align: right;">(金属企画部 小口朋恵)</p>
2020 年 1 月 28 日	銅	<p>Anglo American、2019 年第 4 四半期の大規模な干ばつの影響で Los Bronces 銅鉱山の生産量が 28% 減</p> <p>Anglo American、2020 年 1 月 23 日付け地元紙は、チリにおける大規模な干ばつの影響で Anglo American・Los Bronces 銅鉱山生産量に影響が出ていると報じている。</p> <p>同社によると、2019 年第 4 四半期の Los Bronces 銅鉱山における銅生産量は前年同期比 28% 減の 71,700t、プラントにおける鉱石処理量は前年同期比 44% 減の 7 百万 t であった。この原因は、チリ中部において過去 10 年に前例のないほど最悪の干ばつによる水不足に見舞われたためだとしている。</p> <p>一方、同社の Collahuasi 銅鉱山における 2019 年第 4 四半期の銅生産量は 4% 増の 72,200t となった。同社は、銅品位が 1.28% から 1.25% に低下したものの選鉱プラント修繕により生産量が増加したとしている。</p> <p>同社の 2019 年通年の銅生産量は 638 千 t であり、前年 (668.3 千 t) から 5% 減少となった。2020 年通年の生産量は 620~670 千 t とほぼ横ばいが見込まれている。</p> <p style="text-align: right;">(金属企画部 小口朋恵)</p>
2020 年 1 月 29 日	プラチナ パラジウム 鉄鉱石 錫	<p>Anglo American、年間生産目標を達成</p> <p>2020 年 1 月 23 日付けで、英 Anglo American は 2019 年第 4 四半期の生産報告書を公表した。Mark Cutifani 最高経営最高責任者は次のように述べている。「我々は事業全体の年間生産目標を達成した。ブラジルの Minas-Rio 鉄鉱石鉱山の増産に成功したことにより、2019 年第 4 四半期の生産量は 4% 増加した。豪州における原料炭の生産量の増加により、ダイヤモンド採掘業者である De Beers 社の南ア・Venetia 鉱山などにおける生産量減少、加・Victor 鉱山のマインライフの終了の到来に加え、チリ・Los Bronces 銅鉱山における干ばつの影響も相殺された。計画どおり、2019 年末までにブラジル・Minas-Rio 鉄鉱石鉱山の尾鉱ダムの操業ライセンスを取得した。また、高い品位と処理能力によって、プラチナとパラジウムの 2019 年第 4 四半期の生産量が対前年同期比で 10% 増加した。」としている。</p> <p style="text-align: right;">(ロンドン事務所 倉田清香)</p>

<p>2020 年 2 月 4 日</p>	<p>PGM(白金族)</p>	<p>Amplats 社の 2019 年生産量に対する電力不足の影響</p> <p>2020 年 1 月 23 日付け PGM 生産者 Anglo American Platinum (Amplats) 社の発表によると、2019 年の国営電力会社 Eskom による停電の影響によって、PGM 年間生産量のうち 38 千 oz 分の損失に繋がった。また、Rustenburg 精錬所の処理量としては、216 千 oz 分の減に繋がっている。このように電力不足の影響を受けたものの、2019 年の生産量としては前年比増であり、精鉱を PGM 量 1,152.7 千 oz (前年比 9%増)、精錬では 1,308.8 千 oz (前年比 2%増) を生産している。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
<p>2020 年 2 月 28 日</p>	<p>その他</p>	<p>Anglo American、2019 年度決算公表</p> <p>2020 年 2 月 20 日付けで英 Anglo American が公表した 2019 年度決算 (2019 年 12 月末締め) では、EBITDA が前年比で 9%上昇し、10bUS\$となったと発表した。Mark Cutifani CEO は「ダイヤモンドと石炭の価格の弱さを相殺する貴金属と鉄鉱石の価格の強さ及び製品と市場の多様化から利益を得た」とした上で、「P101 プログラム、Future Smart Mining の成果により、2012 年と比較して、生産性は 2 倍、ユニットコストは 29%減少し、EBITDA マージンは 42%となった」とコメントしている。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>

(出典：JOGMEC ニュースフラッシュ)